

学習法・Q & Aセミナー (管理会計論・監査論コラボ編)

2022年4月13日(水) 18時～21時

管理会計論

(手元にテキストがあればぜひ参照ください)

TAC公認会計士講座講師
岡本匡央

1. 管理会計論と監査論の共通点

① どちらも実学

⇒ 仕事そのものの学問のため、
仕事をしたことがない人にはイメージしづらい

② どちらもコスパが非常に良い

⇒ 学問として極めるには一生かかるが、
受験科目として、正しく学習すれば非常に効率的

2. 過去の短答式試験（管理会計論）

	H28①	H28②	H29①	H29②	H30①	H30②
平均点	45.9	48.0	51.1	47.4	49.4	45.8
TAC期待	65.0	75.0	70.0	70.0	70.0	70.0

	H31①	H31②	R2①	R2②	R3	R4①
平均点	44.1	37.4	34.5	46.0	40.9	47.1
TAC期待	50.0	52.0	52.0	68.0	50.0	65.0

- 計算8問（原価計算4問、管理会計4問）で60点
理論8問（原価計算4問、管理会計4問）で40点
- 高得点はとりづらい（下手すれば足切りに）
- 基礎的な問題を素早く正確に解く必要

3. 過去の本試験結果から言えること

★「基礎」がとにかく大切！★

- 誰も解けないような問題を解く能力は一切不要。
- 他の受験生が解ける問題を確実に解ける基礎力。
- ただし、職業的専門家になるための試験なので、中途半端な「基礎」では太刀打ちできない。

これらは、短答・論文通じて言えることです。

4. TACの管理会計論教材の特長

教材	特長
テキスト	この1冊でインプットは必要十分。
例題集	平易な数値設例でテキストの理解を補強。
トレーニング	計算力の基礎を完全習得するための最重要教材。
アクセス答練	実力を本番レベルに引き上げる珠玉の教育的問題。
短答答練	本番で安心できる高地トレーニング。
論文答練	本試験を模した現場対応力の養成。

どう考えても、受験業界No.1の教材ですから、
安心して学習してください。

5-1. 苦手になる理由と対策 ①

① 迷子になりやすい

- 工場業務や経理実務などの実際の仕事のイメージがわからず、テキストを読んでも理解が定着しない。



講義で聴いた具体例を参考に、工場の製造現場や社長の意思決定場面を、とにかくイメージ！イメージ！

- 問題のパターンが無限にあり、なじみづらい。



構造論点（原価計算）⇒個別論点（管理会計）で学習する科目であると認め、「立ち位置を明確にする勉強」を！

5-2. 苦手になる理由と対策 ②

② 芋づる失点でモチベーション低下

- 普段しっかり勉強しているのに、答練になると問題の入り口で間違い、その後の問題も芋づる失点し、苦手意識が強くなる。



問題の入り口での失点は、①問題設定の把握不足か、
②注意力不足、で起きる。

①は、普段から「考えて解くクセ」を付けて対応。

②は、問題の入り口ほど、時間をかけても丁寧に解いて対応。

6-1. 原計・管理の学習の最重要ポイント

テキストP3 「原価計算の目的」を暗記しよう！

目的	説明
①財務諸表作成	製品原価の正確な計算
②価格計算	政府の軍需品購入価格（今日的意味合いなし）
③原価管理	コスト削減
④予算管理	利益管理（予算編成と予算統制）
⑤基本計画設定	設備投資意思決定

6-2. 原計・管理の学習の最重要ポイント

テキストの構成を理解し、勉強の立ち位置を明確にしよう！

目的	テキストの章
①財務諸表作成 (製品原価の 正確な計算)	2章 費目別計算 3章 製造間接費の配賦計算 4章 部門別計算 5章 製品別計算 (個別原価計算) 6章 製品別計算 (総合原価計算)
③原価管理 (コスト削減)	7章 標準原価計算
④予算管理 (利益管理)	8章 直接原価計算 3章 CVP分析 4章 予算管理 (予算編成・予算統制) 8章 業務的意思決定
⑤基本計画設定 (設備投資)	9章 設備投資意思決定

6-3. 原計・管理の学習の最重要ポイント

原価計算とは？ 管理会計とは？ (P3、P246)

	原価計算制度 (原価計算)	特殊原価調査 (管理会計)
財務会計機構との関係	財務会計機構と有機的に結合	財務会計機構のらち外
計算の頻度	常時継続的	随時断片的
目的	財務諸表作成、原価管理、 予算統制	業務的意思決定、 設備投資意思決定
特徴	上記の目的が相ともに達成 されるべき一定の計算秩序	原価の統計的、技術的計算 ないし調査
原価の性質	支出原価	特殊原価 (差額・機会・埋没原価)
時間的性質	過去情報	未来情報
イメージ	監査	コンサルティング

7. 原価計算のキーワード

「製品原価の正確な計算」、「原価管理」、「実学」

- P44 製造間接費の配賦基準の要件
- P48 製造間接費の実際配賦と予定配賦
- P63 部門別計算の目的
- P64 原価部門設定時の考慮事項
- P66 補助部門費を製造部門へ配賦する理由
- P68 直接配賦法・階梯式配賦法・相互配賦法
- P78 補助部門費の配賦と原価管理
- P100 作業屑の会計処理
- P119 非度外視法と度外視法の比較
- P178 標準原価差異の分析の必要性

8. 管理会計のキーワード

「社長目線（利益管理、仕組み作り）」、「CF」

- P227 変動費、固定費、貢献利益
- P262 CVP分析（短期利益計画・大綱的利益計画）
- P281 予算編成
- P282 予算統制
- P320 業務的意思決定（差額・機会・埋没原価）
- P330 設備投資意思決定
（貨幣の時間価値、CF、資本コスト）
- P354 事業部の業績測定
- P364 内部振替価格
- P374 企業価値・事業価値の評価

9. 短答式試験過去問をキーワード目線で

R3とR4①の短答式試験問題（計算問題）を見てみよう。
各問とも問題の導入部分に、その問題の状況が書かれています。
何となく問題に入っていくのではなく、

- ・ 何の論点の問題か？
- ・ その論点のキーワードは何か？
- ・ どういうことに注意して資料を読むべきか？

を意識することで、グッと正答へ近づきます。
これらは、短答・論文通じて言えることです。



**だからこそ、普段から「立ち位置」を
明確にした勉強が大切！**

10-1. よくある相談 ①

Q. 管理会計編は好きだけど、原価計算編が嫌いです。

A. 「勘定連絡」をおろそかにしていませんか？

原価計算は、仕訳を切るために行われるもので、仕訳（勘定連絡）は十分に暗記しましょう。

勘定連絡があいまいなままで、原価計算の克服はできませんので、腹をくくって向き合いましょう。

入門テキスト（P12～13）が超重要ですので、受付で借りてでもマスターしよう！

10-2. よくある相談 ②

Q. テキストの内容は、どこまで暗記すればよいですか？

A. TACのテキストは、試験に向けて重要な点のみを凝縮しており、一切の無駄はありません。

そのなかで、講師が「暗記」と言った箇所は暗記を。
(書くより、話す方が、暗記効率はやい)

読んでわかるのは当たり前であり、
それを他人に説明できて初めて、「理解」できた状態で、
その状況が数か月続く状態が「暗記」です。

10-3. よくある相談 ③

Q. 何回やっても忘れます。センスがないのでは…

A. 身体に染み込んでないうちは、忘れるのは当然。

講義の進捗にあわせた問題演習のほか、
もう1つ～2つの復習ラインを走らせよう。

その際、半日～1日かけて章ごとに集中的に
問題を問く、「まとめ解き」が有効です。

10-4. よくある相談 ④

Q. アクセス短答答練で、点数が伸びません…

A. トレーニングは、やり込みましたか？

トレーニング1～2周のみで、
アクセスで高得点がとれるほどは甘くありません。

トレーニングは、TACのノウハウが凝縮された
最重要教材ですので、ぜひやり込んでください。

10-5. よくある相談 ⑤

Q. 解答数値を覚えるまで繰り返したのに、
初見問題が解けません。

A. 問題を解いたあと、解答解説のみを見て、
「なるほど」と思っただけで、終えていませんか？

必ず、テキストの該当箇所を読み、テキストの記述と
問題での出方を照合しましょう。

面倒な作業ですが、「なぜそのような計算をするのか」
の確認をしない限り、成績向上はありません。

11. 上級講義に向けてのメッセージ

- 短答合格、論文合格のために、TACの教材以外は、一切不要です。
- コスパの良い教材を使用することで、他科目の学習時間を多く確保でき、他校の受験生よりも、全体的に効率の良い勉強ができます。
- TACの多くの合格者も口をそろえていますので、信じて頑張ってください！